

香山俊路先生（飯山養護）の「極意」伝承道場訪問

11月28日（金）



失敗力、体力、夢を語る力も必要

観て、聴いて、やってみよう



不登校支援は親子関係の成立、教師との関係の構築。

子どもに寄り添うこと、自己決定力の育成が大事！

香山先生の「極意」伝承道場に参加させていただきました。会場は屋代中学校を使用させていただきました。屋代中学校の校長先生ありがとうございました。

今回は不登校対応「復帰のタイミング」について香山先生の体験や自身が研修等で学ばれたことを中心にお話しいただきました。

不登校の子どもが「登校渋り期」「不登校安定期」「回復期」「始動期」のどこに今いるのかを知ることが大切だという話は先生方にぜひ知っていただきたいことだと感じました。

また、保護者と連携して、子どもの背中を押すタイミングを見逃さないということを強調されていました。不登校の子どもが成長できるよう、失敗力や体力などが必要であるという話は、すべての子どもに言えることだと感じました。子どもの夢をまるごと受け止めて、聴いてあげること大人には大切なことだと思いました。香山先生のお話は不登校対応だけではなく子ども理解には欠かせない内容でした。